

第5学年 外国語活動指導案

5年1組2組3組5組 計15人（男子7人 女子8人）

指導者 CT 神園幸代

ST 小野洋一郎，伊集院琳子，新戸香織

有村弘樹，垂野真衣

1 単元名 Where do you want to go?

2 単元目標

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	主体的に学習に取り組む態度
1 段 階	外国語の音声や歌，チャンツを楽しみ，やりとりの表現を感じ取ろうとする。	教師と一緒にいきたいところを選び，ジェスチャーを交えて，伝えようとする。	ジェスチャー等を交えて，教師と一緒に，挨拶ややりとりの雰囲気を楽しもうとする。
2 段 階	行きたい場所を聞いたり，答えたりしようとする。	先生や友達に，ジェスチャーや単語を交えて，簡単な挨拶ややりとりをしようとする。	相手に伝わるように，ジェスチャーをしながら伝える等，工夫しようとする。
3 段 階	友達の質問を聞き取り，相手に正しく伝えようとする。	質問したり答えたりする中で，相手の言うことの内容を理解し，やりとりをしようとする。	相手に伝わるように，積極的に質問をしたり答えたりしようとする。

3 単元について

(1) 本グループは，知的障害学級の児童14人と重複障害学級の児童1人で構成されている。外国語活動に取り組み始めた頃は，外国語で挨拶することに恥ずかしさがあったり，教師の問い掛けに戸惑ったりする場面があった。しかし，授業を重ねるうちに笑顔で授業を楽しむ姿が見られた。

「What do you like?」では，友達や教師の好きな色を聞き，シールを集める学習に対し積極的に活動していた。「Hello! Matthew!」では，新しいALTや友達と一緒に，挨拶や自己紹介のやり取りを行い，外国語で伝える喜びを感じることで，さらにコミュニケーションの楽しさを味わえるようになった。

本単元「Where do you want to go?」は，友達の行きたい場所について聞いたり，自分の行きたい場所を答えたりする表現に慣れ親しむ学習である。児童の好きな歌やチャンツ，ゲームを使い，身体を動かしながら楽しく活動することにより，やりとりの表現に慣れ親しむことができるのではないかと考えた。外国語で質問したり答えたりする活動を通して，外国語で伝わる喜びを感じ，コミュニケーションの楽しさを味わう経験ができ，今後の外国語活動へ意欲が高められるようになると考える。

(2) 単元における学びの視点

主体的な学び	挨拶や歌，チャンツを通して，お互いに楽しみながらやりとりができる雰囲気作りを行い，全児童が発表できるようにする。
対話的な学び	やりとりの答えをシールで貼る活動を通して，外国語で友達に「聞きたい。」「答えたい。」という思いが伝わるような，行きたい所調べゲームを行う。
深い学び	互いに向き合い，質問を聞いたり答えたりする活動を繰り返すことで，友達の思いも積極的に受け取れるようにする。

4 指導計画

※ 単元シートの「指導計画」を参照してください。

5 本時

単元・題材名	Where do you want to go?	時数	3/3	テーマ	神園	期日	令和2年2月14日(金)2校時	場所	多目的室	
目標	本時の重点項目	□知識及び理解			☑思考力, 判断力, 表現力等			☑主体的に学習に取り組む態度		
	【1段階】	ジェスチャー等を交えて, 教師と一緒に, 挨拶ややりとりの雰囲気を楽しもうとする。 (F児, H児, O児)			【2段階】			【3段階】		
学習の流れ	主な学習活動	本時における学びの視点			指導上の留意点					
	<ol style="list-style-type: none"> 1 始めの挨拶をする。 Greeting 2 歌とチャンツをする。 1 2 month and “I can ○○” Chants 3 友達や教師と挨拶する。 Hello, How are you? I’ m ○○. I can ○○ . My birthday is ○○. 4 C TとS Tのsmall talkを聞く。 Hello, Where do you want to go? I want to go to ○○. I want to eat ○○. 5 学習内容と本時の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 外国語で友達に行きたいところを 聞いたり答えたりしよう。 </div> 6 行きたい所調べゲームをする。 ・ 行きたいところを友達に聞き, 答えた場所にシールを貼る。 ・ お互いやりとりができれば, 挨拶をして別れる。 7 発表をする。 ・ やりとりをみんなの前で, 発表する。 8 挨拶をして, ジャンケンをして終わる。 	<p>【主】 教師と児童が, ジェスチャーを交えて歌ったりリズムに乗って身体を動かしたりして, 表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>【対】 いろいろな対話の形態で, 挨拶する時間を設け, 楽しい雰囲気を作れるようにする。</p> <p>【主】 教師が, ジェスチャーや表情を豊かにして, 教師や友達との会話を興味深く聞けるようにする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【主】 友達や教師とやりとりを楽しめるように, ジェスチャーや表情を豊かにしたり, 褒める言葉を伝えたりする。</p> <p>【対】 やりとりを発表する場を設定し, コミュニケーションの楽しさや外国語で伝わる喜びを味わえるようにする。</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ○ マイクや音源を利用して, リズムに合わせて体を動かせるようにする。 ○ いろいろ形態で対話ができるように, 教師が言葉掛けをする。 ○ 各表現のジェスチャーを使いながら, 対話し, 内容に気付かせるようにする。 ○ 基本的なやりとり “Thank you” や “Please” も忘れないように, Small Talk で気付かせるようにする。 ○ できるだけ外国語で交流をする時間を多く設けられるようにする。 ○ 1段階の児童や, 外国語で対話を楽しめるように, 絵カードを用意し, 選べるようにする。普段話せない友達とも外国語を楽しめるようにする。 ○ 発表の内容だけではなく, 良かった部分や会話で工夫していた部分を称賛し, 共有する。 					
場の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容 1, 2 は椅子の前に立って活動する。 3, 6 では, ホワイトボード前でいろいろな友達と動きながら交流する。 4, 5, 7 では椅子に座り Small Talk や発表を聞くようにする。 			<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-5deg);">ABCDEF</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-5deg);">GHIJ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-5deg);">KLMNO</div> </div>						

